



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
 東日本旅客鉄道株式会社 代々木総合事務所 5階
 電話 03-5315-0941
 2021年8月20日
 第726号
 発行人 佐藤英樹 編集人 湯ノ目亜矢子
 毎月1回20日発行/一部20円
 (組合員の購読料は、組合費に含む)

JR東労組ホームページは
 ←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>

安全・命を最大の価値基軸に 「職場と仕事と生活」を守るため 仲間と共に未来を切り拓く8・9フォーラム



JR東労組は8月9日に、『安全・命を最大の価値基軸に「職場と仕事と生活」を守るため仲間と共に未来を切り拓く8・9フォーラム』を開催しました。

フォーラムを迎えるまで、JR東労組は、2020年2月に「新生JR東労組運動宣言」を掲げて組合員と共に運動をつくり出してきました。さらには、赤字・コロナ禍を乗り越えるために「雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言」を打ち出し、職場から取り組みを行ってきました。

今フォーラムでは、これまでの議論、実践、社会情勢も踏まえ、「職場と仕事と生活」を守るために、部会およびバス本部から課題提起・提言を頂き、討論を行いました。そして、職場で発生しているあらゆる問題を共有化し、

現実を踏まえた上で将来展望を切り拓くために組織として団結を強化して立ち向かっていくことを意思統一しました。

JR東労組は、安全で働きやすい職場と労働条件をつくり出すことを目的に、組合員と共に取り組んでいます。しかし、職場では私たちの努力を踏みにじるような事象や、安全が脅かされている事象、ハラスメント行為等がいくつも報告されています。職場現実を正確に掴み、これらの事象を組織として共有化し、一つひとつ向き合っていきます。組合員の雇用と利益を守るためにJR東労組に結集し、未来を切り拓くために全組合員で奮闘していきましょう！

JR東労組に結集し、仲間と共に立ち上がろう！

主催者あいさつ(要旨)

中央執行委員長 佐藤 英樹

情勢を見定め、構えをつくらう！

2020年度末決算でのJR発足来初の赤字以降、2021年度第1四半期も赤字で厳しい状況が続いています。しかし会社は、何としても360億円の赤字をめざすために「変革2027」を基盤にした様々な施策を行っています。施策における説明が不十分なのは、説明できない管理者の課題でもありますが、本質的には「決まったことには従え」という会社の官僚的な姿勢の現われではないでしょうか。

JR東日本ニュースでは、7年連続でDX銘柄2021に選定されたと報告されています。積極的にDXを取り組む企業を経済産業省および東京証券取引所が選定するものですが、選定根拠は、「変革2027」「Maasの取り組み」「自社新幹線のチケットレス化推進」になっています。360億円の赤字予想を据え置くことも「企業価値の向上につながる」という会社の見解を見れば、投資家などを意識してのものだと言えます。

21春闘でも明らかになったように、会社は赤字・コロナ禍を理由に賃金抑制などを通じて私たち労働者に犠牲を強いてきました。2020年11月に経団連より提言された「。新成長戦略」や2021年6月に閣議決定された「成長戦略実行計画」などを基盤にJR東日本では「変革2027」や施策が打ち出されています。会社は赤字経営をめざすために、更に私たちの生活に直結する賃金や、場合によって雇用形態などに手を付けてくるということなのです。従って年末手当・22春闘は、しっかりと構えをつくり、敵しいたかたいになるということに腹に据えて、職場からたたかう体制を構築していこうではありませんか。

働き方の多様性と言われているなかで「副業」も課題になっています。労働者保護ルールの規制強化を求めるためには、J

R総連推薦議員懇談会の国会議員との連携も必要不可欠です。職場におけるたたかいを通じて会社の狙いをはっきりさせ、「安全・健康・ゆとり・働きがい」をもとに要求を掲げ、施策に真正面から向き合っていきます。

JR東労組運動を 職場から実践しよう！

昨年9月9日に「雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言」を發出して以降、コロナ禍における経営の危機を主体的に捉え、雇用と職場を守るために組合員と共に努力を積み重ねてきました。私たちは、職場や車内のアルコール除菌、JR東日本グループの積極的な商品購入など、職場・分会において、誰かに言われたからやるのではなく、自らの危機感を原動力にしながらJR東日本発足初の赤字経営のなか「何ができるのか」と知恵を出し合いながら実践しました。他労組は、私たちの実践を「御用組合」と罵りましたが、彼らには、その努力の根底にある役員や組合員の主体性の確立など到底理解できるはずもありません。

私たちは、18春闘敗北から自らの過ちを認め、組合員との信頼を積み重ね、現実をきちんと掴むことにはこだわってきました。これからもこの努力を続けていきます。職場議論を通じて、組合員一人ひとりがJR東労組の必要性を確立しない限り、「組織の再生はない」と考えています。いま目の前にある現実から逃げることなく、JR東労組から離脱を生み出さないために全組合員と共に職場活動を強化しなければなりません。

「間違っていることは間違っている、正しいことは正しい」と言える相互議論や相互指摘ができる関係がJR東労組の仲間関係です。会社は常に営利優先ですが、JR東労組は組合員の利益を優先して、離脱者や未加入者の皆さんとも連携して、私たち

「間違っていることは間違っている、正しいことは正しい」と言える相互議論や相互指摘ができる関係がJR東労組の仲間関係です。会社は常に営利優先ですが、JR東労組は組合員の利益を優先して、離脱者や未加入者の皆さんとも連携して、私たち

の「職場と仕事と生活」を守るためには是非々でたたかわなければなりません。

夏季手当のたたかいにおいて、会社の狙いを分析し、構えや準備をつくり、団体交渉と職場がリンクしてたたかったということとは、大きな教訓です。だからこそ改めて職場におけるたたかいを点検する必要があります。職場で組合員の話しを聞いていますか？執行委員会等で職場実態に合わせ運動が提起されていますか？18春闘から組織力が低下したから「仕方ない」と放置していませんか？課題を各地方本部や分会組織の実態に合わせて運動を実践し、誰がどのようにかわり組織が強化されたのか、こだわってたたかっていきたいと考えています。

労働組合として組合員と 共にたたかおう！

私たちが何も言わなければ、会社はやりたい放題ということなのです。現実に行き詰る問題に対して「如何にたたかうのか」ということを組合員と一致し、安全問題、不当労働行為、ハラスメントなどについて、私たちがチェック機能を果たさなければなりません。

会社は、「安全はトッププライオリティ」と述べていますが、私は、システム開発やマルチ社員の育成だけに頼るのではなく、JR東日本グループ社員とお客さまの命を守るために現場目線で安全を担う人の育成が重要だと考えています。そして命を守るには、命よりも会社の利益が優先されないということなのです。

私たちにあって、安全・命は最大の価値基軸です。8・9フォーラムを一つの節目にしなが職場のたたかいと提言を通じて、私たちが働く環境の変化や安全・命にかかわる危機感を一致させて組合員と共にたたかう姿勢を確立しようではありませんか。



17日間行われた東京五輪は、過去最高のメダル獲得数で8月8日に閉会した。ほとんどの会場が無観客開催としたが、五輪期間中の人流は増えた▼急速にコロナ感染は拡大し、8月5日には東京都で感染者が5千人を超え、過去最高の感染者数を更新する自治体が相次いでいる。その結果、緊急事態宣言の対象地域と重点措置の適用地域は拡大され、期間も延長となった▼東京都の専門家会議では「感染は制御不能で災害レベルの非常事態」「災害と同様に自分の身は自分で守る行動が必要」など自己責任論が展開されている▼これまで感染対策を進めてきた政治の総括はなく、国民の行動が悪いのだと言わなければならぬ態度ではないだろうか。これは、国や権力が弱い立場にいる国民や労働者を守ることはできないことだ。そのような中、労働者個人が自分の身は自分で守ることなど果たしてできるのだろうか▼会社と社員の関係においても同様のことが言える。今進められている施策などが、誰のために行っているのか、誰のために実施されるのか、労働者の視点で本質を見抜き、雇用と利益を守るために労働組合に結集し、今こそ団結しよう。

(N・M)